

国語

〔60分〕

第1問

次に示すのは、文部科学省が発表した「高等学校学習指導要領解説 特別活動編」の「旅行・集団宿泊的行事のねらいと内容」の一部である。それに続く〔会話文〕は、増進高等学校の修学旅行委員と委員会顧問の先生との間でかわされた討論の様子である。後に示す〔資料①〕～〔資料③〕を踏まえて、各問い（問1～3）に答えよ。

高等学校学習指導要領解説 特別活動編（平成三十年）より

旅行・集団宿泊的行事のねらいは、次のとおり考えられる。

校外の豊かな自然や文化に触れる体験を通して、学校における学習活動を充実発展させる。また、校外における集団活動を通して、教師と生徒が寝食を共にすることによって、教師と生徒、生徒相互の人間的な触れ合いや信頼関係の大切さを経験し、楽しい思い出をつくることができる。さらに、集団生活を通して、基本的な生活習慣や公衆道徳などについての体験を積み、集団生活のきまりや社会生活上のルールについて考え、実践し、互いを思いやり、共に協力し合ったりするなどのよりよい人間関係を形成しようとする態度を育てる。

旅行・集団宿泊的行事においては、例えば次のとおり資質・能力を育成することが考えられる。

- 豊かな自然や文化・社会に親しむことの意義を理解するとともに、校外における集団生活の在り方や社会生活上のルール、公衆道徳などについて理解し、必要な行動の仕方を身に付けるようにする。
- 日常とは異なる生活環境の中での集団生活の在り方や公衆道徳について考え、学校生活や学習活動の成果を活用するように考えることができるようにする。
- 日常とは異なる環境や集団生活において、自然や文化・社会に親しみ、新たな視点から学校生活や学習活動の意義を考えようとする態度を養う。

旅行・集団宿泊的行事としては、遠足、修学旅行、集団宿泊、野外活動などが考えられる。

（以下略）

【会話文】

登場する人物

金沢——増進高等学校修学旅行委員会委員長。

水戸——3年1組 修学旅行委員。

長野——3年2組 修学旅行委員。

大坂——3年3組 修学旅行委員。

宮崎——3年4組 修学旅行委員。

松山——教諭。修学旅行委員会顧問。

金沢

私たちは昨年に修学旅行に行きました。天気にも恵まれて、京都・奈良旅行を満喫しましたが、現在振り返ってみて、皆さん、どういふ感想をもっていますか。

水戸

「高等学校学習指導要領解説 特別活動編」にある修学旅行の目的に照らしながら、観光を通じて今後の私たちの学びが深まるような活動を設定することを意識されたのはわかるんですが、神社やお寺ばかりで少し飽きてしまいました。もう少し私たちの興味関心に即したコースを選んだほうがいいんじゃないかと思いました。

宮崎

うーん。私は、別に奈良・京都を巡るような修学旅行でもよいと思いますけれど。私たちの興味関心に即した場所なら、そこそ友達同士の旅行で行けばいいだけのことでいいから。修学旅行の最大の目的は、集団活動を通して人間的に成長することだと思うので、自分の興味とは関係ないところに行くことも、それはそれで意味があるのではないのでしょうか。

長野

でも「人間的に成長する」ためには、一定の興味関心やモチベーションが必要だと思います。明治時代、修学旅行が始まった頃には、富士登山や皆既日食観測など、それなりに魅力的な企画があったらしいです。それが今では、定番の観光地巡りばかりになってしまっています。

松山

修学旅行にも冒険と同じような新鮮な体験があったほうがいいかもしれないね。事実、最近の修学旅行の傾向をみると、**【資料②】**にあるように、「体験学習」を取り入れる学校が増えてきている。たとえば、**【資料①】**は他の高校の生徒が書いた文章だが、これまでの生活環境とは大きく異なる石垣島での民泊体験は結構、刺激的で有益だったようだ。

大坂

うらやましいなあ。**【資料③】**の「重点を置いた活動内容」で、「遺跡、史跡、文化財、寺社などの見学」と石垣島の民泊

のような「いなか暮らし体験」について、それぞれ他の項目には見られない特徴に注目して前々回から今回までの順位の推移を比べると、アということになりますね。この調子が続けば、体験学習が見学学習を追い抜く日もそう遠くなさそうですね。

水戸 私も同感です。日常から離れて新しい体験が得られる修学旅行であれば、視野を広げて自分や世界を見つめ直すことができ、将来の進路決定にも役立ちそうですね。

宮崎 ただし、集団活動が苦手で、修学旅行に行きたくないという生徒が少なからずいます。本当はそんな生徒こそ、集団の中でルールを守り、他の仲間と協調して信頼関係を深めていく訓練として、修学旅行に参加するべきじゃないかな。

長野 【資料②】をみるとわかるように、修学旅行では「班別の自主活動」が一般的になってきています。過去に比べて、従来の団体観光旅行型の修学旅行で重んじられた集団の規律や人間関係というのはあまり意味をもたなくなるのでは。

松山 たしかに修学旅行は「班別の自主行動」による多様な「体験学習」型に移っているようだが、それでも修学旅行の基本として「学習指導要領解説」に言われている「教師と生徒、生徒相互の肉体的な触れ合いや信頼関係の大切さを経験し、楽しい思い出をつくることができる」という従来の姿を忘れてはならないだろう。集団の中での協調性や責任感は授業ではなかなか教えられないからね。

金沢 そうですね。それでは、委員の皆さんと先生のこれまでの話から、修学旅行の今日的な意義をまとめてみたいと思います。まず、イ

以上の二点になります。

松山 なかなか興味深い議論でした。皆さんの意見は次年度以降の後輩のために大いに参考にすることにします。

【資料①】

石垣島での修学旅行体験

増修高校 三年 大津 誠

今回の修学旅行は、私にとっては初めての沖縄の石垣島、そして、初めての民泊というように、「はじめて」づくしの旅でした。「石垣島で民泊」と知った当初は不安が大きくて、正直なところホテルのほうが良いと思いました。でも、親切な民宿の方々とお会いするとすぐにそんな不安は消え、班の仲間と一つの部屋と一緒にいることもすごく楽しくて、ホテルに泊まるより絶対によかったと思うようになりました。

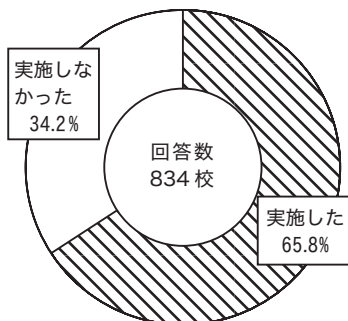
私が石垣島で最も印象に残ったことは、近所に住む人たちとの交流でした。町の人たちはみんな仲良さそうに話をしていますし、私たちにも気軽に話しかけてくれ、とても明るくていいところだと感じました。食事を自分たちで作って食べる郷土料理の体験もしましたが、石垣島では屋外でホームパーティをする人も多く、そこでは、遠くからの旅行者などが特に歓迎されるという話を聞きました。古文の授業で習った「まろウド（客人）」を珍重する伝統がまだ生きているようで、興味深かったです。

私たちの班は農家の方たちを訪問する自主活動をしました。農家の仕事は大変そうです。たとえば、豚が病気を起こして、他の農家の豚へも感染してしまうと大変なことになるので、豚小屋はいつも清潔に保つようになっているそうです。豚小屋の清掃体験も少しだけさせてもらいましたが、本当に大変な仕事でした。

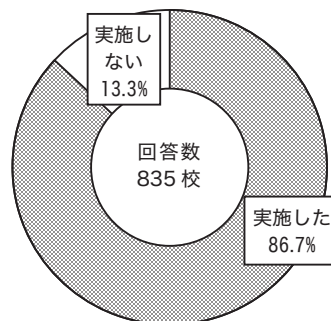
石垣島での体験を通じて、同じ日本にいるのに異文化体験をしたような新鮮な気分になりました。島の人たちの、人と人とのつながりを大切にしている温かい気持ちは、本の中で読んだだけの、私が知らない昔の日本を思い出させるものであり、それは、現代に生きるすべての私たちが見習わなければならない点だと思います。このように今回の修学旅行は、私にとって新しい気づきと新しい学びの連続でした。

【資料②】

・体験学習実施率



・班別自主行動実施率



※全国の国立・公立・私立等の高等学校を対象とし、調査校を抽出し回答を依頼した。
(日本修学旅行協会「教育旅行年報 データブック 2017」)

【資料③】

重点を置いた活動内容

順位			活動内容
今回	前回	前々回	
1	1	1	遺跡、史跡、文化財、寺社などの見学
2	2	2	平和学習
3	5	3	伝統的町並みや建造物群保存地区の見学
4	5	4	スキー（スノーボード、スノーシューなど含む）
5	3	5	自然や野外活動体験（無人島体験、洞窟体験など含む）
5	4	5	マリンスポーツ（ダイビング、シュノーケリングなどを含む）
7	13	17	いなか暮らし体験
8	12	15	産業や産業遺産の見学
9	10	12	その他のスポーツ（ラフティング、カヌー、熱気球、トレッキング、乗馬など含む）
10	8	7	職場訪問、職場体験
11	7	11	伝統文化、伝統芸能や祭り体験（書道、舞妓、着付け、三味線、など含む）
12	9	9	博物館などの見学
13	10	13	学校見学（大学、専門学校など）
14	15	-	防災・震災学習
14	18	16	ミュージカル、演劇などの鑑賞
16	14	10	伝統工芸などものづくり体験
17	17	14	宗教体験（座禅、法話、写経など）
18	16	8	環境学習体験
19	19	18	農業
20	23	20	歌舞伎、文楽、能楽などの鑑賞
21	21	19	料理・食品加工体験
22	20	20	美術館などの見学
23	22	22	国際交流（外国人、留学生との交流）
24	24	25	酪農
25	26	24	販売・商業体験
26	24	23	漁業（釣り含む）
27	28	25	コンサート、音楽の鑑賞
27	-	-	林業
27	-	-	介護福祉体験
30	27	-	ボランティア体験（具体的内容）

（日本修学旅行協会「教育旅行年報 データブック2017」）

問1 傍線部「観光を通じて今後の私たちの学びが深まるような活動を設定する」とあるが、このねらいに当てはまる箇所を「高等学校学習指導要領解説 特別活動編」から探し、「……こと。」に続く形にして三十字以内で書け（読点を含む）。

問2 空欄「ア」に当てはまる言葉を、「前々回から今回までの順位の推移を比べると」どうなっているかが具体的に分かるように四十字以内で書け（読点を含む）。なお、「遺跡、史跡、文化財、寺社などの見学」を「前者」、「いなか暮らし体験」を「後者」として述べること。

問3 空欄「イ」について、ここで金沢さんは何と述べたと考えられるか。次の(1)～(4)を満たすように書け。

- (1) 二文構成で、百二十字以内で書くこと（句読点を含む）。なお、会話体にしなくてよい。
- (2) 一文目は「集団活動」という言葉を使って述べること。
- (3) 二文目は「さらに、」という書き出しで、「体験」という言葉を使って述べること。
- (4) (2)・(3)について、それぞれの根拠はすべて「高等学校学習指導要領解説 特別活動編」、および【会話文】によること。